

ふれあいのまち



# 松原かわら版

世帯数 1,300 戸  
人口 2,949 人  
高齢化率(65歳以上) 30.3%  
(令和8年2月1日現在)

## 三九郎

子ども会育成会会長

高橋 聖一

寒風の中、1月10日に伝統行事「三九郎」が無事開催されました。今年も強風の影響で、子ども達が主体となって櫓を組み

計画は叶いませんでしたが、大人と一緒に竹枠を作り、一生懸命に達磨や松飾りを積み上げてくれました。

鈴木第一町会長の挨拶の後、



数ヶ月前から準備にご尽力いただいた全ての皆様感謝いたします。この伝統が、子ども達の未来へと受け継がれていくことを願っています。

代表の小中学生6名が点火を行うと、パチパチと音を立てて炎が舞い上がりました。公民館では未就学児を対象とした「繭玉づくり」も行われ、自分たちで作った繭玉を嬉しそうに頬張る姿が見られました。

新しい防火条例や担い手不足など課題はありますが、子ども達の記憶に残る原風景を守るため、地域一丸となって工夫を凝らした年となりました。

## 山梨防災バス研修



煙体験

2月12日

山梨県立防災安全センターで、地震が起きる

時のため普段からできる心構えについて学びました。お話の一部を紹介いたします。

『松本の地震は、直下型で突然起こります。緊急地震速報が流れる暇はありません。揺れるのは15秒位です。その時どう自分の身を守るかが大事です。まず、想像することです。今地震が起きたらどうしたら良いかを想像してみてください。

逃げると言いますが、揺れている間は立てません。立とうとすることで逆に怪我をしやすくなります。逃げられない中で15秒をどう過ごすか。

例えばソファにいたとしたら、ソファとテーブルのあいだに入れば、家が潰れても自分の身は守れます。トイレの中なら、座



震度7の揺れを体験



ったまま両側の壁に手をつくると体が振り回されずに安定します。時折でいいですから、今地震が起きたら揺れる中どうしたら生き延びられるかを考えるようにしてください。

また、揺れがおさまったら、余震があると思うので、より安全な所に動く。今いる所が安全なら、動かないことも大事です。家の中なら倒れてくるものがない廊下。外にいたら、周りに崩れてくるところがない広場など。自分で判断することが大事です。例えば、崩れてくるようなブロック塀のある所を普段から見ているとき、避難する時に使わない。危ないからです。

判断するために「今地震が起きたらどうするか」を想像することです。死なないために必要なことです。防災は難しくありません。自分で普段から考えることが大事です。

お話を聞く前、地震が起きた時はまずガスの元栓を閉めたりドアを開けるなど避難路を確保したうえで頭を守る姿勢でいると思っていました。立つことすらできないとは思いませんでした。普段なら簡単にできることでも、大きな揺れのなかではできないことがわかりました。普段から一人ひとりがわが身で地震が起きた時を想像し、備えましょう。

(編集委員)

## 町会のできごと

### 第1町会

2月22日(日) 松原地区公民館にて第1町会主催のシイタケ駒打ち体験が開催されました。昨年に引き続き2回目の開催で、15名が参加しました。

第1町会の町会長で「きのこ衛生指導員」の鈴木喜一郎さんに教えてもらいながら、コナラの原木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌糸を培養した駒を打ち込みました。1本の原木に対して細かいもので30個、太いものでは60個ほどの駒を木槌などで打っていきます。

当日はお天気も良く、シイタケのおいしい食べ方を教えていただいたり、持ち帰った後の管理の仕方を質問したりし、楽しい作業になりました。

収穫は、来年の秋になります。参加者の中には2回目の方も何人かいて、昨年作業したものが今秋収穫を迎えます。初めての参加者も収穫が楽しみと、それぞれ大事そうに原木を持ち帰りました。

(編集委員)



# まつばらのできごと

12/24 まつばら餅つき大会

88名の子どもが参加して、木の臼と杵を使っての餅つき。つきたての餅をみんなで美味しく頂きました。この伝統文化を後世に繋げて欲しいものです。



12/23 人権研修 松代大本営地下壕から学ぶ

日本の政府中枢機能を移転するために掘られた戦争遺跡。当時の状態のまま保存され、多くの人々がこの建設に関わり大変苦勞して地下壕を建設したことがわかりました。



▲午後は長野県立歴史館を視察

1/5 新春書初め大会

地域の書道の先生から指導を仰ぎ、冬休みの宿題「書初め」に挑戦。



1/21・29・2/4 楽々ボディメンテ講座

福祉ひろばと共催で、「腰」「肩」「膝」と3回に亘り固まった筋肉をストレッチでほぐしました。



2/11 レッツ手づくりバレンタインスイーツを作るう

大切な人に想いを込めてガトーショコラを手作りしました。



## 退任のあいさつ

松原地区公民館長 河内 正弘

この度、公民館長を退任することになりました。令和6年、7年度の2年間と他の公民館長と比べ短い期間でしたが、皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

松本市の北西部に位置する島内に住んでいる私には松原地区は馴染みのない地区であり、不安一杯の中で赴任してきました。しかし、よそ者の私を地区の皆様が温かく受け入れてくださり、また職場の同僚にも恵まれたおかげで何とかここまでやってくることができました。

コロナで中止・縮小をしていた各事業も令和5年度から徐々に再開したおかげで、6年度は前年度を踏襲して事業を行う事ができました。そこで、2年目からは踏襲しながらも自分がやりたい事を足しこもると志しましたが、結果は前年踏襲のみとなつてしまいました。自分の不甲斐なさを痛感しています。

ただ、こうして事業を行うことができたのも地区の皆様のご指導・ご協力があったからで皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございます。

これからも地区の皆様方のご指導・ご協力のもと公民館活動や地域づくりを盛り上げていただけるよう願っております。

最後に、皆様方のご健勝を祈念申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

## からくり時計

2月7日、Jリーグにとつて特別なシーズン開幕した。シーズンの秋春制移行に伴う過渡期として開催される約半年間の特別大会「J2・J3百年構想リーグ」である。

この大会では、J2・J3に所属する40チームが東西南北4つのグループに分かれて総当たり戦を行い、カテゴリーを超えた対戦や、特別ルールにより行われるPK戦、そして最終的に全40チームの順位を決定するなど、見どころあふれる大会となっている。

松本山雅は今シーズン、J3在籍5年目。2024年、シーズンプレ・オフ最終戦で、あと一歩のところまでJ2昇格を逃し、次は必ずと意気込んで臨んだ2025年シーズンであったが、過去最低の15位という悔しい結果に終わった。

2026年1月、新体制が発表された。選手の約半数が入れ替わり、監督も交代した。67歳の石崎新監督は、Jリーグ800試合以上を指揮した名監督で、昇格請負人とも呼ばれている。新たなスタートへ、期待が高まった。

2月21日J2ジュビロ磐田戦で、今シーズン初勝利。全力で走る清々しい戦いに、泣けてしまった。3月7日のアルウィン開幕戦が最高の週末となるよう、今から楽しみにしている。(編集委員)

## 編集後記

「松原かわら版」をご愛読いただきありがとうございます。今月号で全委員が交代となります。

この間少子高齢化などにより各町会役員の負担増からくる町会離れ、地震災害などから想定される取り組むべき課題がある中で、より良い紙面を作るため記事作成に取り組んできました。これまで取材や記事作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 編集委員長    | 3町会 神山 幸司 |
| 副委員長     | 5町会 望月 義彦 |
| 会 計      | 6町会 佐々木史美 |
| 編集委員     | 1町会 降幡 優子 |
|          | 2町会 松澤 榮一 |
|          | 4町会 柳沢 文子 |
|          | 7町会 青木 直美 |
| 松原地区公民館長 | 河内 正弘     |
| 公民館主事    | 阿部 優磨     |